

令和8年度 千葉市下水道事業会計当初予算について

目次

1 令和8年度予算の概要

(1) 予算の基本的な考え方・・・・・・・・・・ P.2

2 令和8年度予算における重点事務事業

(1) 令和8年度予算と前年度予算との比較・・・・ P.3

(2) 各主要施策の予算

I―1 浸水被害の軽減と対策の強化・・・・・・・・ P.4

I―2 地震時における機能の確保・・・・・・・・ P.7

I―3 ストックマネジメントの推進・・・・・・・・ P.8

II―3・4 地球温暖化対策の推進・資源の有効利用・・P.11

III―2 官民連携の推進・・・・・・・・ P.13

3 令和8年度予算

(1) 収益的収入・支出・・・・・・・・ P.14

(2) 資本的収入・支出・・・・・・・・ P.16

(3) 予定経営状況・・・・・・・・ P.17

注 単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1 令和8年度予算の概要(1) 予算の基本的な考え方

【基本的な考え方】

令和3年度から令和14年度までを計画期間とし、令和5年8月に改定した千葉市下水道事業中長期経営計画では、3つの基本方針と主要施策に基づき、事業を運営していくこととしています。

令和8年度予算における基本的な考え方、重点事務事業は次のとおりです。

<基本方針Ⅰ 安全・安心で快適な生活を支える下水道>

- 浸水被害の軽減と対策の強化

雨水管渠や貯留槽などの整備推進、市民による防水板設置費用の一部助成

- 地震時における機能の確保

管渠などの耐震化、避難所へのマンホールトイレ設置

液状化地区におけるマンホール浮上防止対策の推進

- スtockマネジメントの推進

施設の点検・補修、老朽化施設の改築（管渠、処理場・ポンプ場）

<基本方針Ⅱ 環境の保全と循環型社会を目指す下水道>

- 地球温暖化対策の推進・資源の有効利用

下水汚泥固形燃料化施設

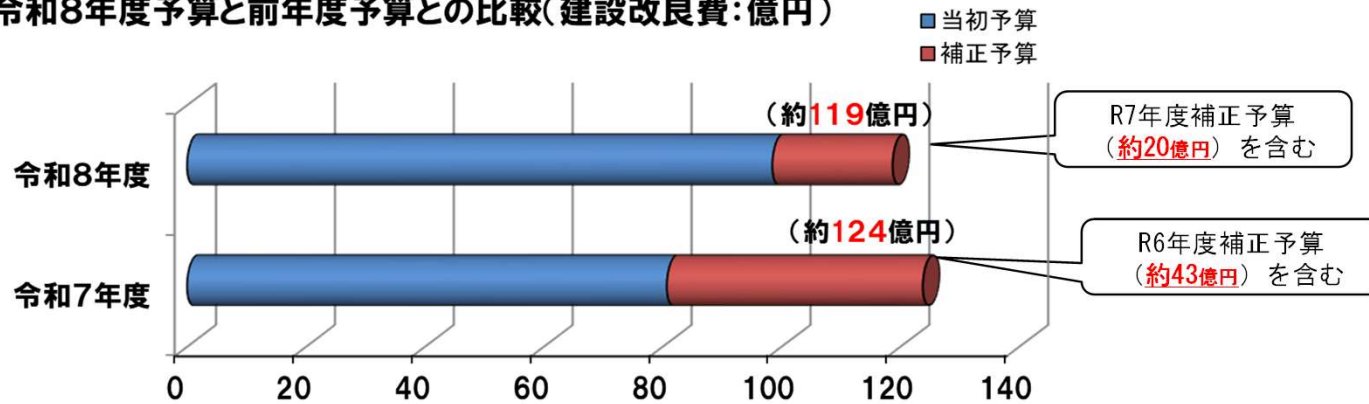
<基本方針Ⅲ 健全な経営に基づいた持続可能な下水道>

- 官民連携の推進

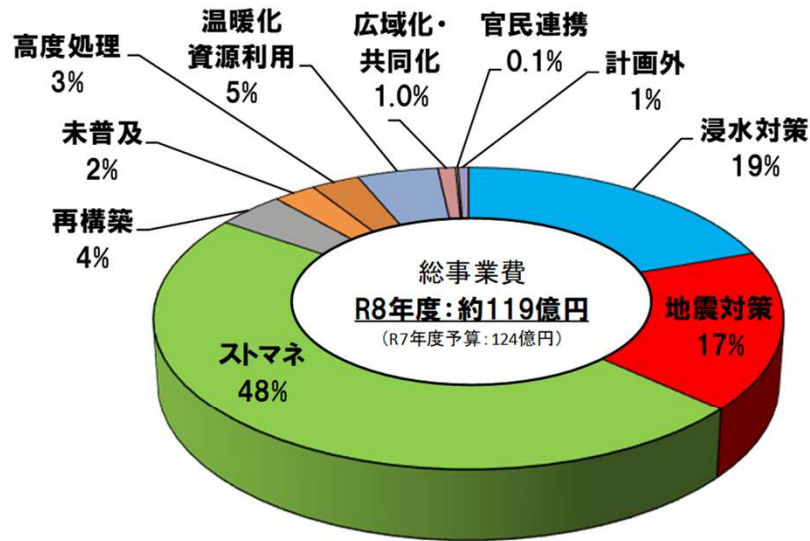
包括的民間委託による維持管理（浄化センター、管渠）

2 令和8年度予算における重点事務事業 (1) 令和8年度予算と前年度予算との比較

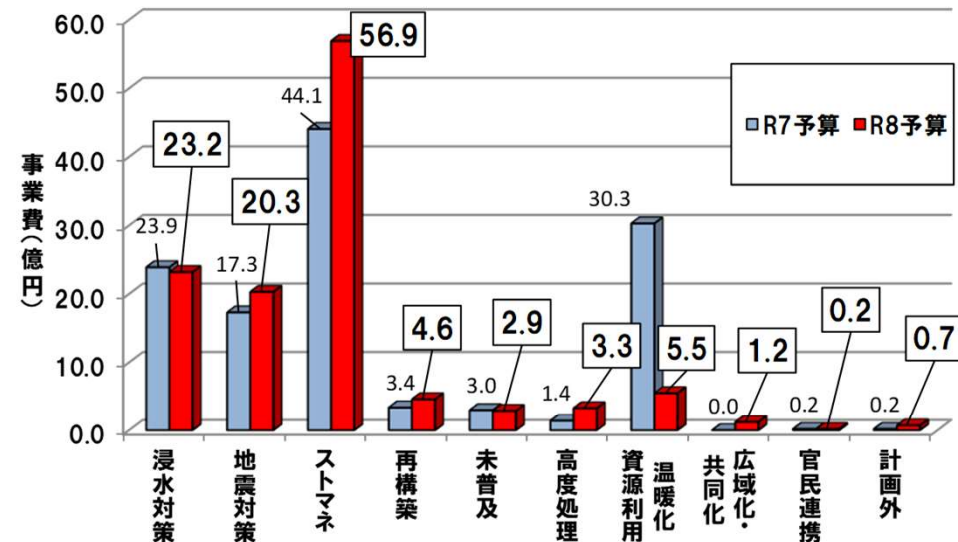
●令和8年度予算と前年度予算との比較(建設改良費:億円)



●令和8年度予算割合(%)



●令和7年度予算との施策別比較(億円)



【令和7年度予算と令和8年度予算における主な増減】

○地球温暖化・資源利用 約25億円の減額

- ・下水污泥固形燃料化事業において、R7年度は炭化炉の設置費で高額であったが、R8年度は既存の焼却炉の撤去となるため、R7年度に比べ、減額となる。

○ストックマネジメント対策 約13億円の増額

- ・下水污泥固形燃料化事業の要望額減に対して、ストマネ事業で平準化を図ったことから同施策の要望額が増加している。また、印旛流域下水道建設負担金の増加(約2億円)が影響している。

2 令和8年度予算における重点事務事業 (2) 各主要施策の予算

主要施策 1-1

浸水被害の軽減と対策の強化 2,316百万円

(R7:2,390百万円 前年比: 96.9%)

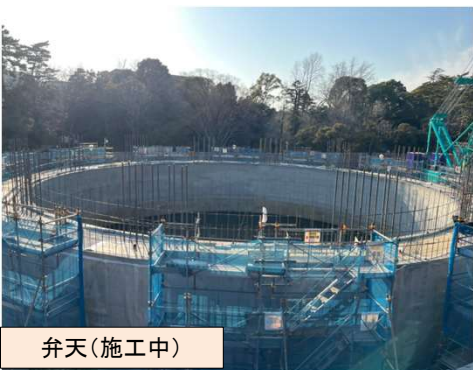
- ① 雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた浸水リスクの高い「重点地区」、その他の「一般地区」において、雨水管渠や貯留槽などの雨水施設の整備を進めます。
また、下水道施設耐水化計画に基づき、下水道施設の耐水化を進めます。
- ② 市民による防水板設置の費用の一部を引き続き助成します。

① 雨水整備(重点地区)

弁天 雨水貯留槽 他
都賀の台 設計



浸水事例(チップスタードーム前)



弁天(施工中)

【重点地区の事業スケジュール】

| 地区名 | 中長期経営計画 (R3~R14) | | | | | | | | | | | | R15以降 |
|--------------|------------------|------------------|------------|----------|-------------|----------------|------------|---------|-----|-----|-----|-------------|-------|
| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7予算 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | |
| 東寺山 (みつわ台) | 貯留槽工事 | 貯留槽工事 | 貯留槽完成 | 取水・排水設備 | 取水・排水設備(繰越) | | | | | | | | |
| 宮崎 (宮崎) | 貯留槽(1)工事 管渠工事 | 貯留槽(1)完成 管渠工事 | 貯留槽(2)工事 | 貯留槽(2)工事 | 貯留槽(2)完成 | | | | | | | | |
| 都第1 (都町) | 貯留槽工事 | 貯留槽完成 | 管渠工事 | 管渠工事 | 管渠工事 | 管渠工事(繰越) | | | | | | | |
| 北部第1 (弁天) | 管渠工事 | 管渠工事 | 管渠工事 | 貯留槽工事 | 貯留槽工事 | 貯留槽完成 | 取水・排水設備 | 取水・排水設備 | | | | | |
| 草野 | 設計 | | 設計 土質測量 | 模型実験 | 模型実験 | 模型実験 設計(繰越) | | | | | | R13より工事着手予定 | |
| 原東・原西 (都賀の台) | | | | | | 設計 | R9より工事着手予定 | | | | | | |

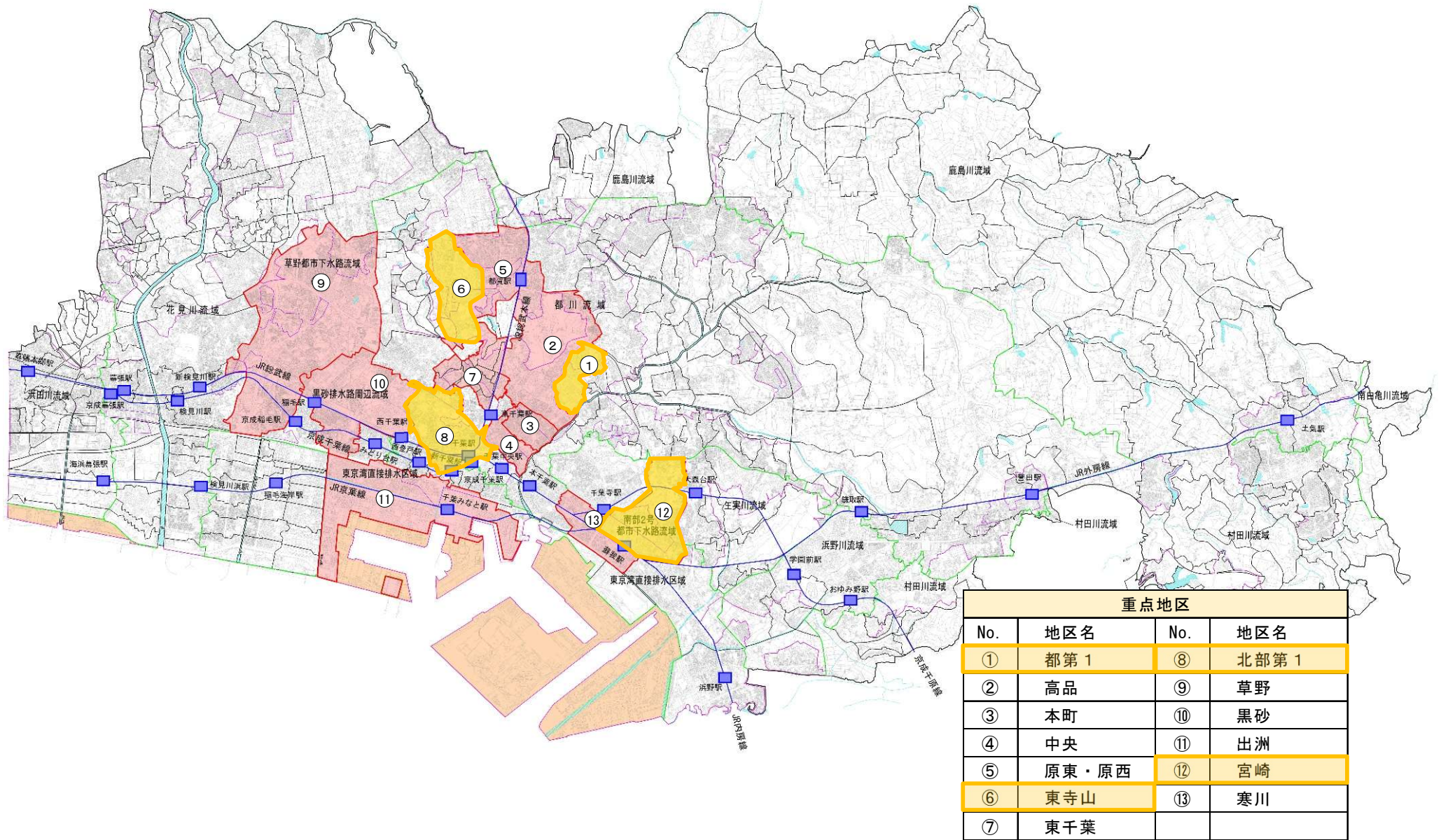
【全13地区進捗率】
(H30~R19事業費ベース)

| | 進捗率 |
|-------|-----|
| R6末 | 25% |
| R7末予定 | 30% |
| R8予定 | 33% |

※中長期経営計画中に7地区完成予定
其他地区については順次整備予定

上段 : 中長期経営計画 事業スケジュール
下段 : R8予算を反映した事業スケジュール

～重点13地区箇所図～



| 重点地区 | | | |
|------|-------|-----|------|
| No. | 地区名 | No. | 地区名 |
| ① | 都第1 | ⑧ | 北部第1 |
| ② | 高品 | ⑨ | 草野 |
| ③ | 本町 | ⑩ | 黒砂 |
| ④ | 中央 | ⑪ | 出洲 |
| ⑤ | 原東・原西 | ⑫ | 宮崎 |
| ⑥ | 東寺山 | ⑬ | 寒川 |
| ⑦ | 東千葉 | | |

工事着手済箇所

雨水整備(一般地区)

村田町、幸町 他

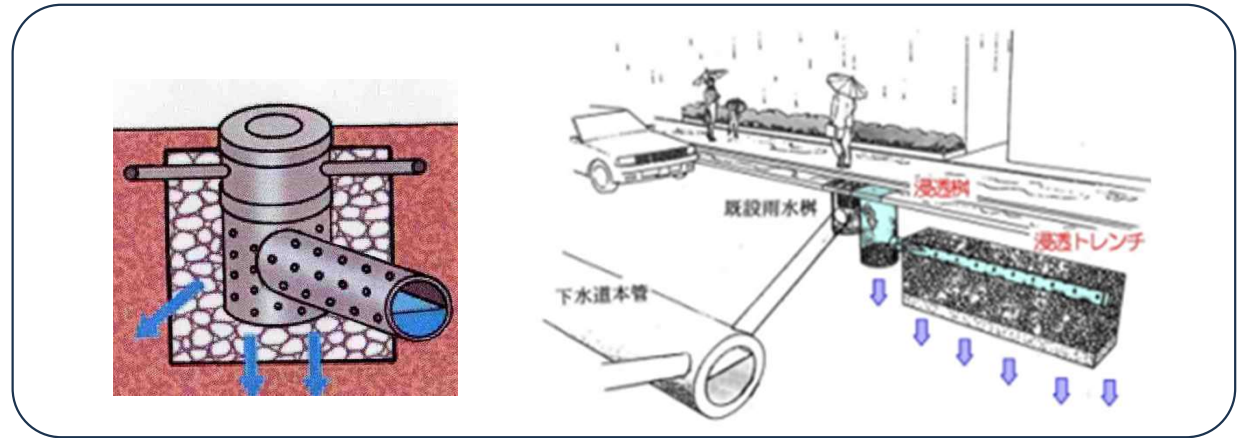
管渠工事 610m

浸透施設整備

千城台南

浸透枺 60個

浸透トレンチ 180m



雨水浸透施設整備イメージ図

下水道施設の耐水化

中央浄化センター：設備嵩上



耐水化 (嵩上げイメージ)

② 助成制度

防水板及び雨水貯留浸透施設の設置費用の 一部を助成



防水版設置イメージ

主要施策 1-2

地震時における機能の確保 2,031百万円 R7補正:2,010百万円含む

(R7:1,728百万円 前年比:117.5%)

- ① 大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、千葉市下水道総合地震対策計画(R7~R16)に基づき、施設の耐震化対策を進めていきます。
- ② マンホールトイレについては、平成29年度からプール水を使用した整備を行い、令和5年度に166箇所の避難所である市立小・中学校などへの設置を完了し、令和6年度から県立高校への整備を進めています。(令和7年度末で3校完了、3校が繰越)
(平成28年度までは非常用井戸水を使用し、55箇所に設置完了)

① 下水道施設の耐震化 管渠3.0km、マンホール浮上防止 300箇所

中央区：千葉港※、新千葉 外

稲毛区：稲毛東3丁目 外

美浜区：幸町2丁目※ 外

美浜区一円：マンホール浮上防止対策

※特別重点調査により「緊急度Ⅱ」の2路線含む(他6路線の設計委託も実施中)

② 処理場・ポンプ場の耐震化

南部浄化センター汚泥濃縮槽

村田雨水ポンプ場、蘇我雨水ポンプ場

長作ポンプ場

工事

③ マンホールトイレの整備

実施設計 県立高校 8校

工 事 県立高校 8校



東日本大震災における被災状況



マンホールトイレ

主要施策 I - 3

ストックマネジメントの推進 5,698百万円 R7補正:12百万円含む

(R7:4,408百万円 前年比:129.0%)

(うち、管路調査・点検に関する費用 331百万円※官民連携の推進と重複計上)

- ① 急増する老朽化した施設に対して、施設のリスクや状態を評価・分析し、効果的な施設管理を行うため、千葉市下水道ストックマネジメント計画(R5~R9)に基づき、老朽化した施設の改築を計画的に進めます。
- ② 下水道ストックマネジメント計画に基づき、適正に維持管理を行うことにより、より安定的な下水道サービスを提供していきます。

① 処理場・ポンプ場設備の改築

- 中央浄化センター 監視制御設備
- 南部浄化センター 汚水ポンプ設備
重力濃縮設備
- 蘇我雨水ポンプ場 受変電設備



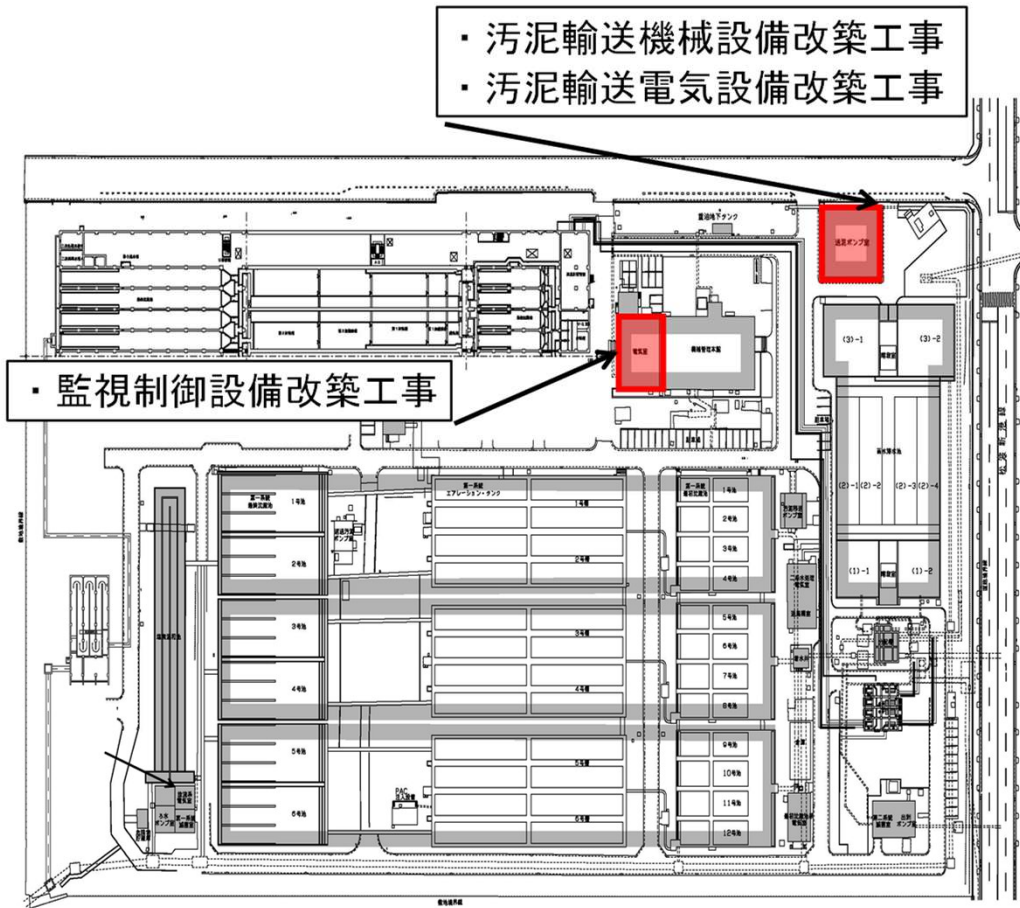
下水道の機能を
適正に維持します



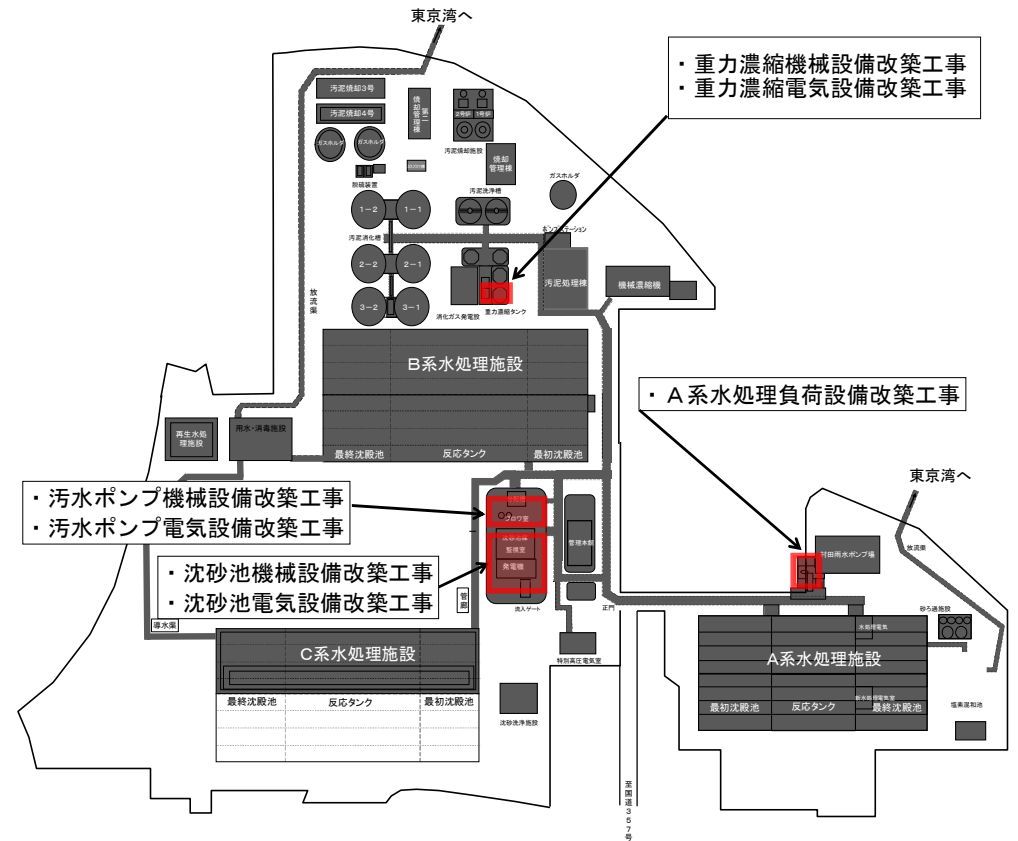
(参考事例)重力濃縮設備の改築



ストックマネジメントの推進



中央浄化センター



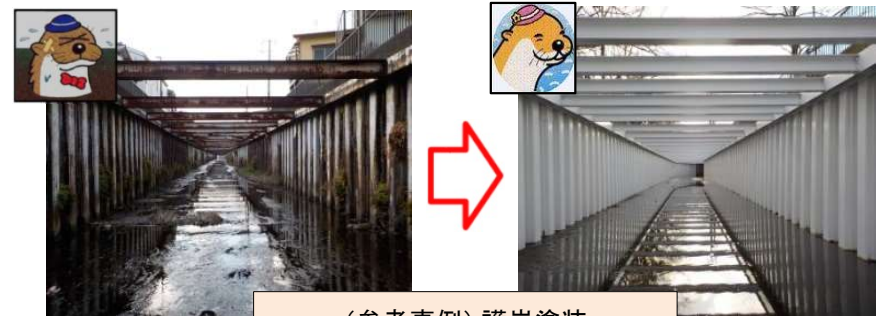
南部浄化センター

② 下水道管渠の改築 8.7km

- ・ 管渠の改築：【中央区】千葉寺町 外、【花見川区】花園3丁目 外、【美浜区】真砂4丁目 外
- ・ マンホール蓋の更新：1000個
- ・ 草野水のみち（護岸塗装）：59m



(参考事例) 管渠の改築



(参考事例) 護岸塗装

③ 下水道管渠の点検・調査 150km ※主要施策Ⅲ-2 官民連携の推進で実施

市内一円：点検50km、調査100km



多様な調査手法(左から、大口径管路用カメラ車、飛行式ドローン、浮流式カメラ)

④ 下水道管路複線化検討業務(リダンダンシー)

管径2m以上の大口径管路など、事故時の社会的影響が大きい重要管路のうち、点検・調査や改築が困難な箇所において、管路の複線化等の多重性が必要となるため、対象管路の絞り込みに向けた調査検討を行います。

主要施策Ⅱ-3・4

地球温暖化対策の推進・資源の有効利用 549百万円

(R7:3,030百万円 *R6補正:3,020百万円含む 前年比:18.1%)

南部浄化センターにおいて、老朽化が進んでいる汚泥焼却炉の更新にあわせ、温室効果ガス排出量の削減が期待できる汚泥固形燃料化施設の整備を進めます。

① 下水汚泥固形燃料化事業 (DBO方式)

下水汚泥固形燃料化施設 60wet-t/日 × 2基

5号燃料化施設

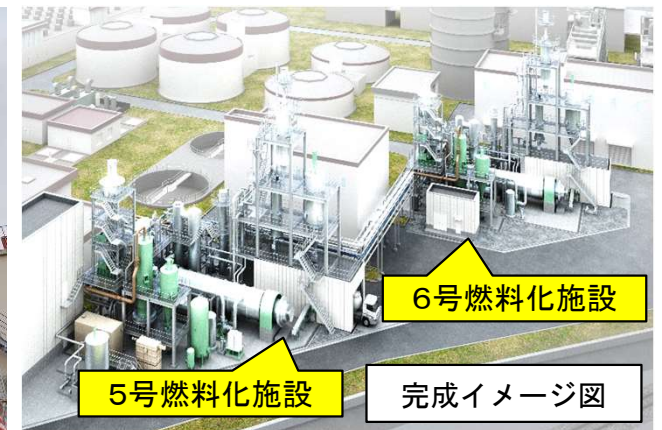
設計・建設 令和5年度～令和7年度
 運営・維持管理 令和8年度～令和27年度

※ 5号燃料化施設 設計・建設
 令和5年度 (設計、既設ガスホルダ撤去)
 令和6年度 (管理棟・ホッパ棟建設、機器据付)
 令和7年度 (機器据付、配管工事、電気工事、試運転)

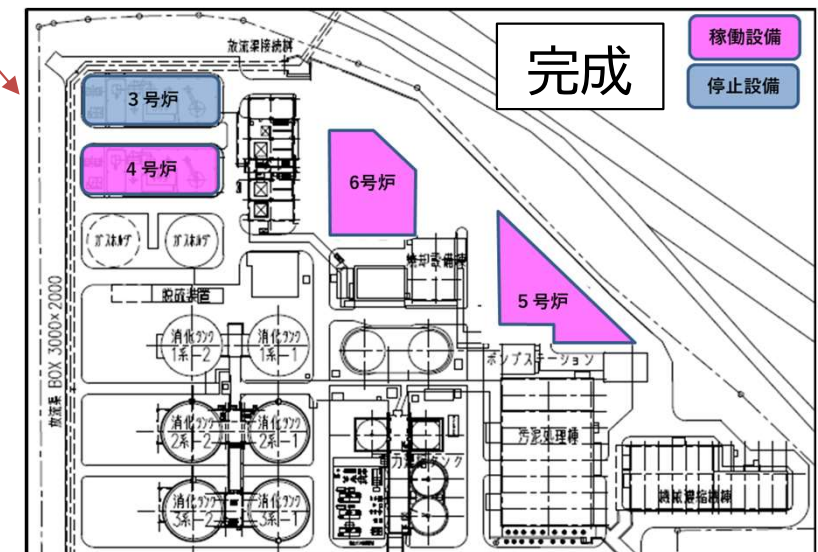
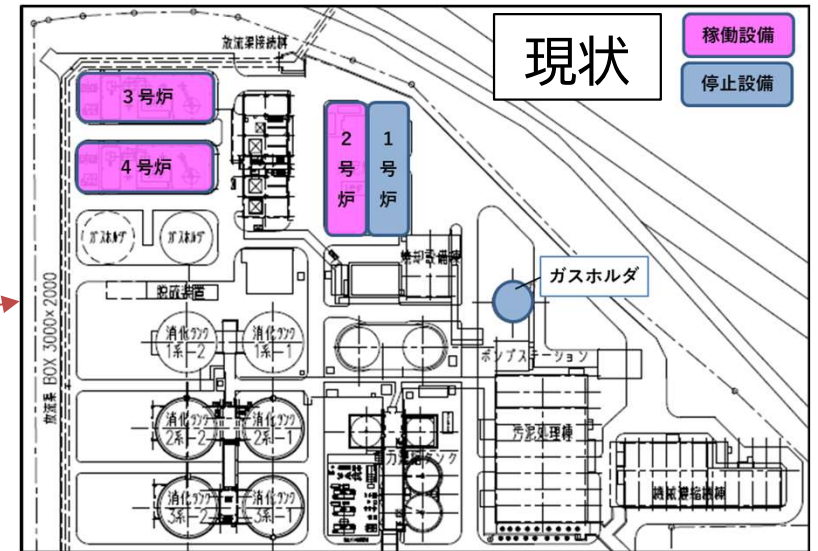
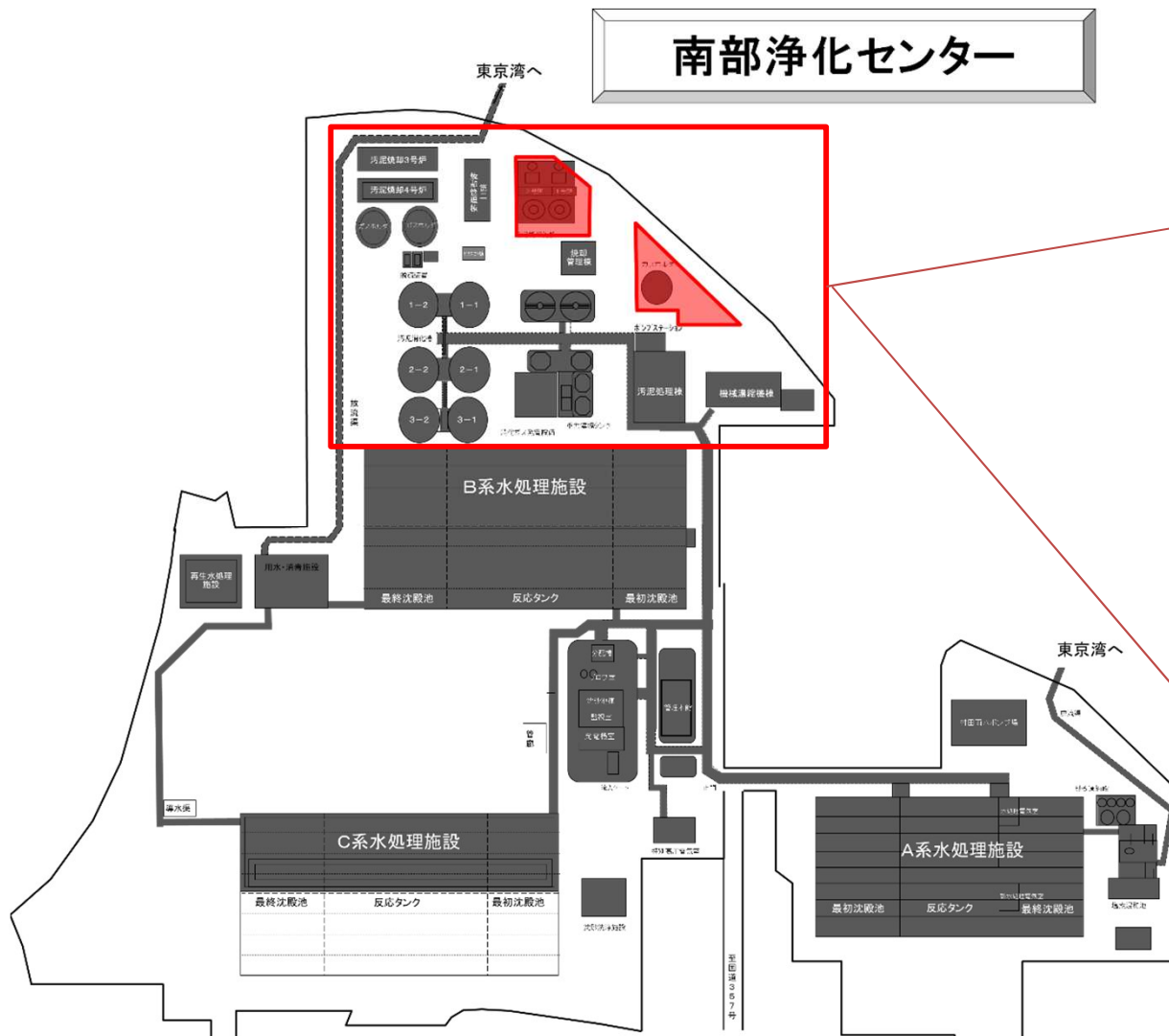
6号燃料化施設

設計・建設 令和8年度～令和10年度
 運営・維持管理 令和11年度～令和30年度

※ 6号燃料化施設 設計・建設
 令和8年度 (設計、既設焼却炉撤去)
 令和9年度 (ホッパ棟建設、機器据付)
 令和10年度 (機器据付、配管工事、電気工事、試運転)



2 令和8年度予算における重点事務事業 (2) 各主要施策の予算



主要施策Ⅲ-2

官民連携の推進 **456百万円** (うち、維持管理費432百万円)

<第2期下水道管路施設における包括的民間委託>

<業務概要>

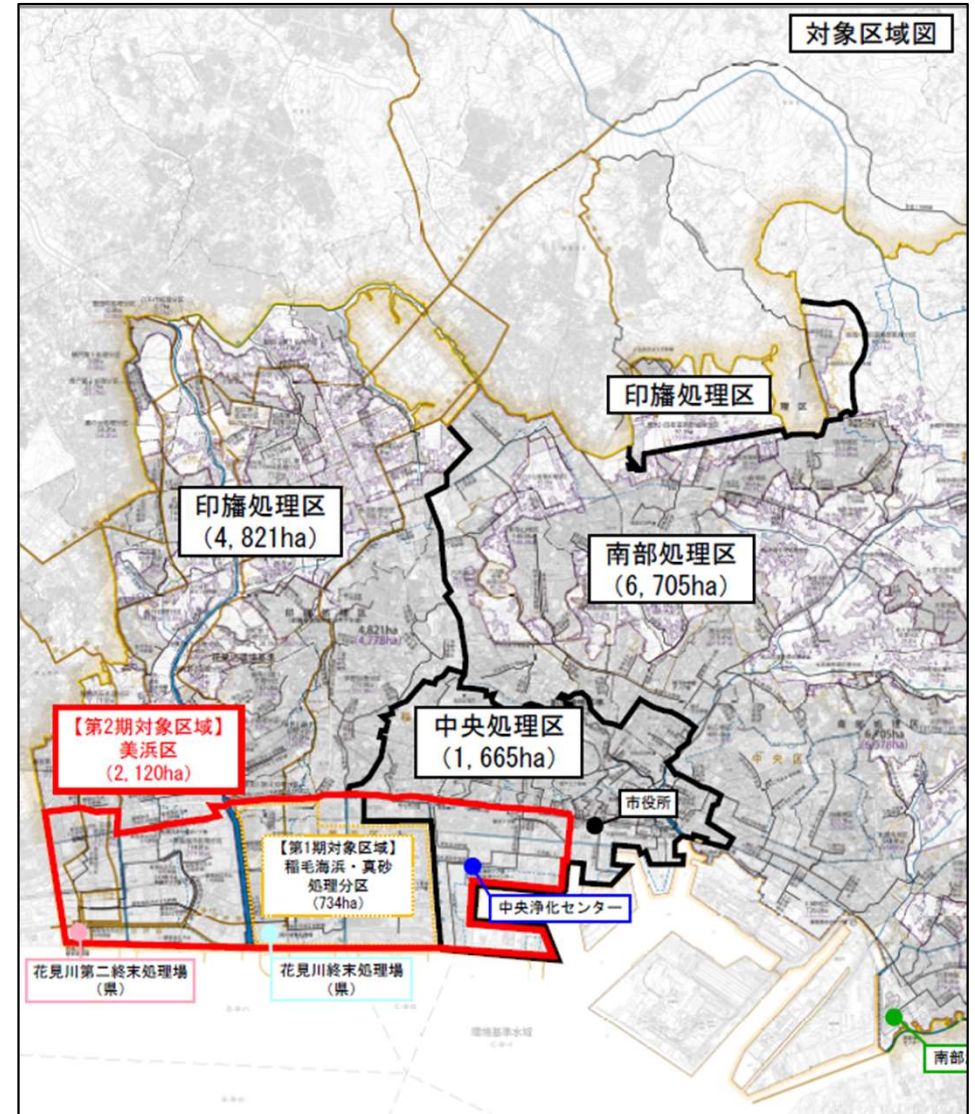
- ・対象区域：美浜区の全域 (2, 120ha)
- ・対象期間：3年間 ※令和8~10年度
- ・対象業務：「住民対応業務」⇒ 要望受付, 清掃業務, 修繕業務
「計画的業務」⇒ 管路内点検・調査
※計画的業務の対象範囲は市内全域
「災害対応業務」⇒ 地震時 (震度5弱以上)

~R8. 4. 1より事業開始~

- ・事業効果を検証するため、第三者機関によるモニタリングを実施

今後の方針

「水の官民連携(ウォーターPPP)」の導入について、令和11年度以降の実施に向けて検討を進める。



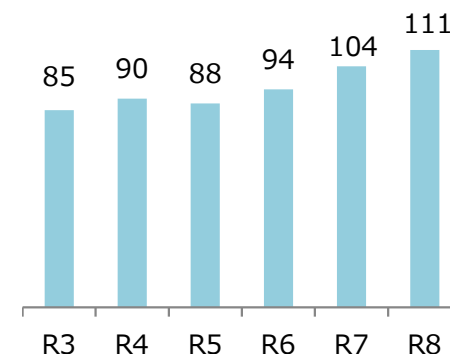
3 令和8年度予算 (1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

営業活動（維持管理等事業の運営活動）に伴う収入と支出のこと。下水道事業では主に、下水道使用料、一般会計繰入金が収益的収入に、維持管理費、減価償却費、企業債利息が収益的支出に該当する。

| (単位：百万円・税込) | R8予算額 | R7予算額 | 増減額 | 増減率 |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 収益的収入 (下水道事業収益) | 33,399 | 31,421 | +1,978 | +6.3% |
| (1) 営業収益 | 22,852 | 23,367 | ▲515 | ▲2.2% |
| ①下水道使用料 | 14,326 | 15,185 | ▲859 | ▲5.7% |
| ②他会計負担金 | 8,418 | 8,086 | +332 | +4.1% |
| ③その他 | 108 | 96 | +12 | +12.5% |
| (2) 営業外収益 | 10,466 | 7,973 | +2,493 | +31.3% |
| ①他会計補助金 | 2,901 | 260 | +2,641 | +1,015.8% |
| ②長期前受金戻入 | 7,529 | 7,679 | ▲150 | ▲2.0% |
| ③その他 | 36 | 34 | +2 | +5.9% |
| (3) 特別利益 | 81 | 81 | ±0 | ±0% |
| 2 収益的支出 (下水道事業費用) | 30,842 | 30,514 | +328 | +1.1% |
| (1) 営業費用 | 27,587 | 27,276 | +311 | +1.1% |
| ①維持管理費 | 11,121 | 10,449 | +672 | +6.4% |
| ②減価償却費 | 16,323 | 16,504 | ▲181 | ▲1.1% |
| ③資産減耗費 | 143 | 323 | ▲180 | ▲55.7% |
| (2) 営業外費用 | 3,234 | 3,218 | +16 | +0.5% |
| ①支払利息 | 3,101 | 2,889 | +212 | +7.3% |
| ②その他 | 133 | 329 | ▲196 | ▲59.6% |
| (3) 特別損失 | 11 | 11 | ±0 | ±0% |
| (4) 予備費 | 10 | 10 | ±0 | ±0% |

維持管理費（億円）(税込)



主な増減要因

- ・使用料改定による増
- ・重点支援地方交付金を活用し、使用料特別減免を実施することによる減

使用料特別減免の実施に伴い使用料の減額分を一般会計補助金で補填することによる増

ポンプ場、処理場の修繕箇所増加による増



令和8年度 下水道使用料 特別減免の概要

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 減免内容 | 基本使用料+10m ³ までの従量使用料 |
| 減免対象者 | 一般家庭及び事業者 (共用汚水及び浴場汚水を除く全使用者) |
| 減免期間 | 6か月間 令和8年7月～12月検針分 |
| 1件あたりの減免額 | 最大5,796円 966円/月×6か月 |
| 対象件数 | 約46万6,000件 |
| 実施規模 | 約27億円(財源は重点支援地方交付金を活用する。) |

- ※ 使用者からの手続きは不要
- ※ 上水道も各水道事業体で同時期に減免を実施する。

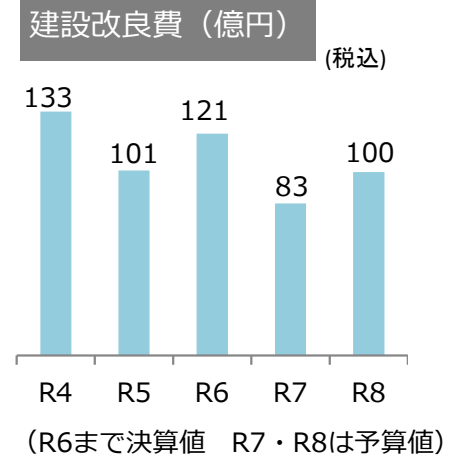


3 令和8年度予算 (2) 資本的収入・支出

資本的収入・支出

営業活動以外の施設の建設などの資産の形成に伴う収入と支出のこと。下水道事業では主に、国庫補助金、企業債が資本的収入に、建設改良費、企業債償還金が資本的支出に該当する。

| (単位：百万円・税込) | R8予算額 | R7予算額 | 増減額 | 増減率 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 資本的収入 | 14,708 | 14,080 | +628 | +4.5% |
| (1) 企業債 | 11,450 | 10,332 | +1,118 | +10.8% |
| ①建設企業債 | 7,154 | 5,488 | +1,666 | +30.4% |
| ②流域下水道負担金債 | 568 | 618 | ▲50 | ▲8.1% |
| ③資本費平準化債 | 3,728 | 4,226 | ▲498 | ▲11.8% |
| (2) 他会計出資金 | 998 | 1,062 | ▲64 | ▲6.0% |
| (3) 補助金 | 2,164 | 2,084 | +80 | +3.8% |
| (4) 負担金 | 93 | 599 | ▲506 | ▲84.5% |
| (5) その他 | 3 | 3 | ±0 | ±0% |
| 2 資本的支出 | 25,493 | 24,271 | +1,222 | +5.0% |
| (1) 建設改良費 | 9,960 | 8,272 | +1,688 | +20.4% |
| ①管きよ布設費 | 4,455 | 4,315 | +140 | +3.2% |
| ②ポンプ場建設費 | 1,593 | 726 | +867 | +119.4% |
| ③処理場建設費 | 2,931 | 2,260 | +671 | +29.7% |
| ④計画認可費 | 188 | 199 | ▲11 | ▲5.5% |
| ⑤給与費 | 793 | 772 | +21 | +2.7% |
| (2) 固定資産購入費 | 602 | 646 | ▲44 | ▲6.8% |
| (3) 償還金 | 14,917 | 15,339 | ▲422 | ▲2.8% |
| ①建設企業債償還金等 | 11,321 | 11,630 | ▲309 | ▲2.7% |
| ②資本費平準化債償還金 | 3,596 | 3,709 | ▲113 | ▲3.0% |
| (4) その他 | 14 | 14 | ±0 | ±0% |



主な増減要因

建設改良費の増に伴う建設企業債の増

R7国補正に伴う、前倒し事業が減少したことによる増

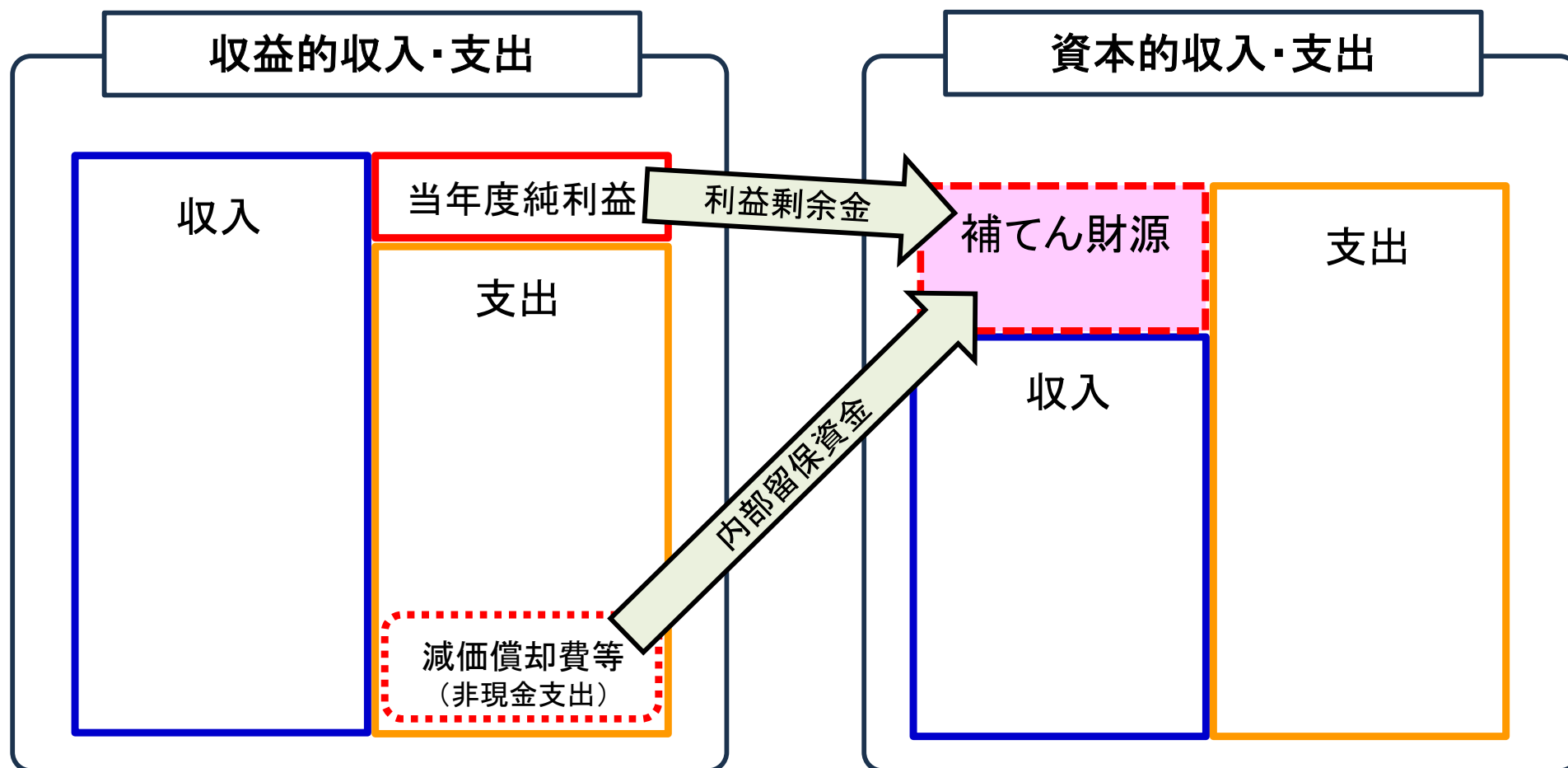
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額107億8,540万円は、減価償却費や利益などより生じる補てん財源を充当する。(p.17参照)

3 令和8年度予算 (3) 予定経営状況

【(参考) 収益的収入・支出と資本的収入・支出の関係】

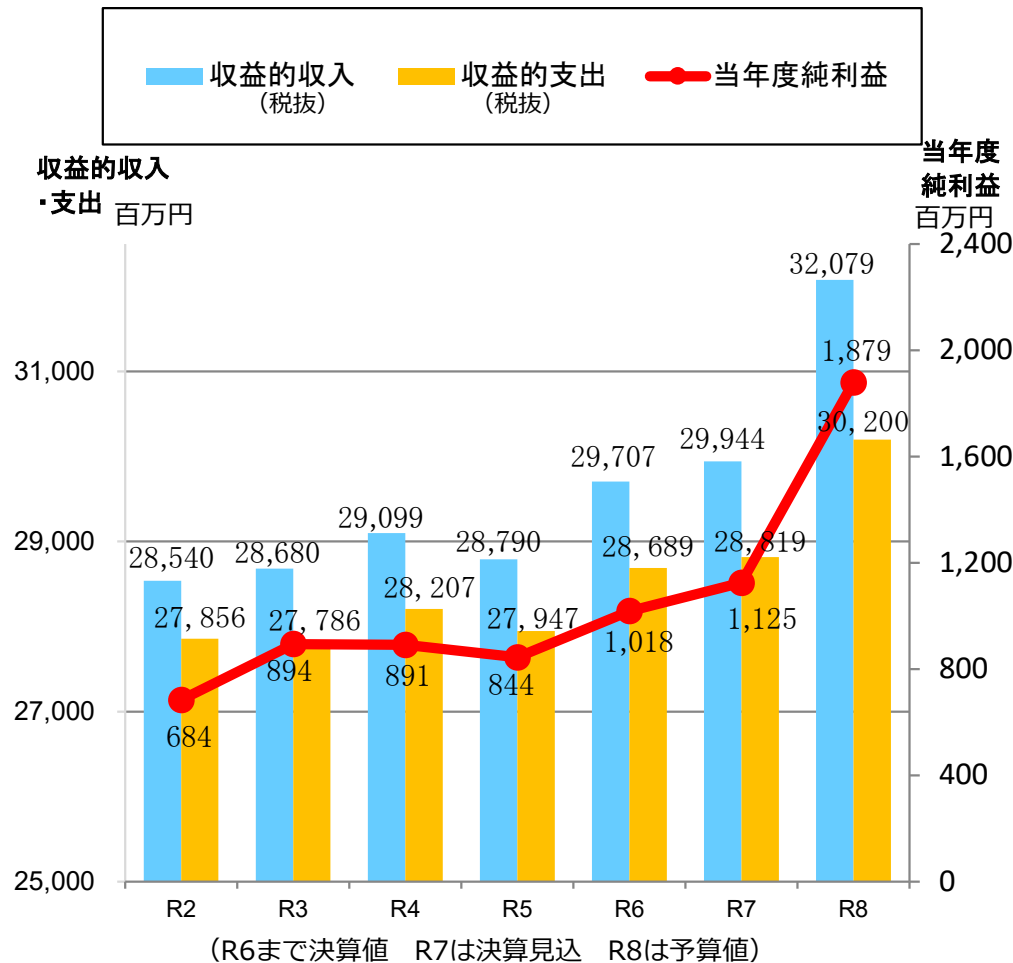
「資本的収入・支出」は、基本的に収入が不足。

「収益的収入・支出」で生じる当年度純利益や、減価償却費等の非現金支出によって企業内部に留保される資金によって、「資本的収入・支出」における収入不足を補てんする。



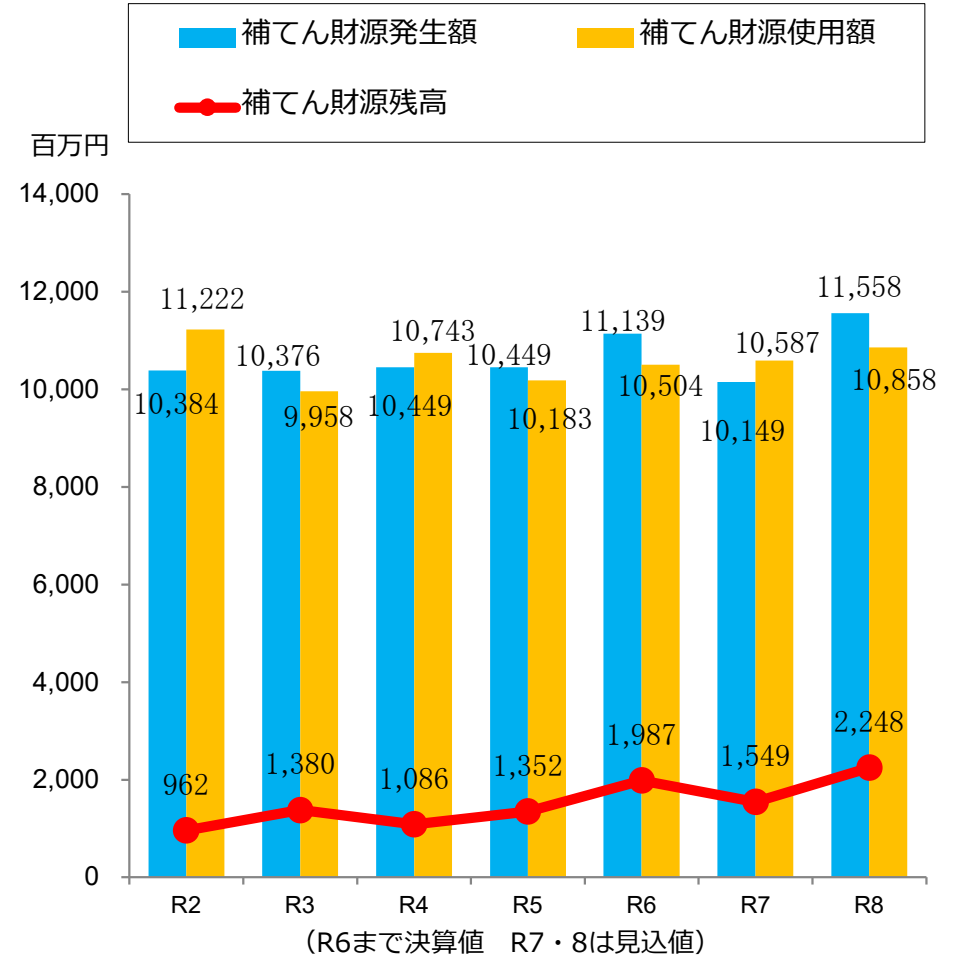
3 令和8年度予算 (3) 予定経営状況

収益的收入・支出、当年度純利益



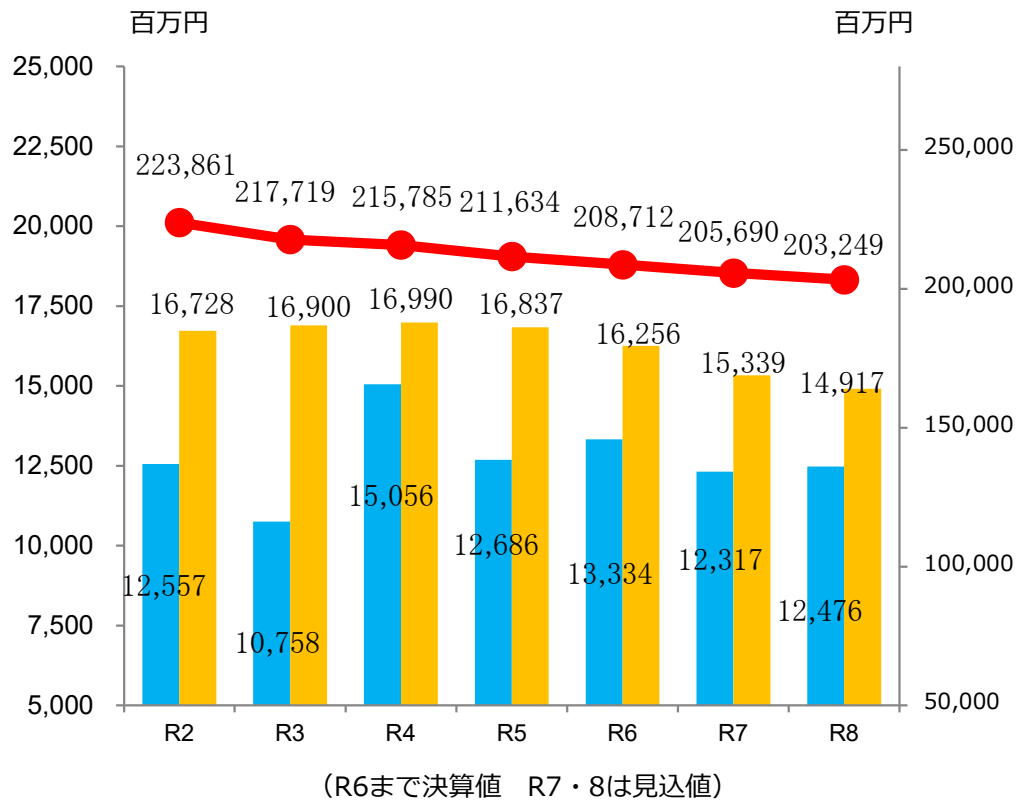
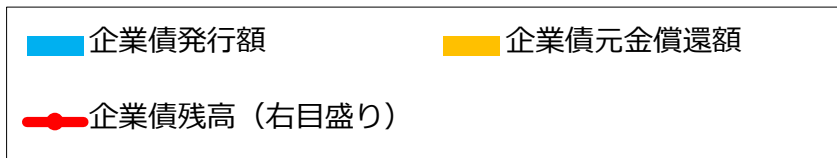
R7支出→R8支出 ポンプ場費・処理場費の増 (+602百万円)
 支払利息及び企業債取扱諸費の増 (+598百万円)
 R7収入→R8収入 国の重点支援交付金を財源とする一般会計補助金の増 (+2,729百万円)

補てん財源残高



補てん財源は、企業債の償還等に充当しています。R2までは、償還額の増加に伴いその残高は減少傾向にありましたが、近年は、使用料改定の実施等に伴い増加傾向にあります。

企業債残高



R8末時点の企業債残高は、市民一人あたり20.6万円と見込まれます。



「汚水処理費」について

「汚水処理費」とは、営業費用・営業外費用に属する汚水処理に要する経費のうち、使用料を充当すべきものを指す。

なお、「汚水処理費」は、修繕費などの「維持管理費」と、減価償却費、支払利息などの「資本費」に分けられる。

p.14 収益的支出

| (単位：百万円・税込) | R8予算額 |
|------------------------------|---------------|
| 2 収益的支出 (下水道事業費用) | 30,842 |
| (1) 営業費用 | 27,587 |
| ①維持管理費 | 11,121 |
| ②減価償却費 | 16,323 |
| ③資産減耗費 | 143 |
| (2) 営業外費用 | 3,234 |
| ①支払利息 | 3,101 |
| ②その他 | 133 |
| (3) 特別損失 | 11 |
| (4) 予備費 | 10 |

営業費用・
営業外費用

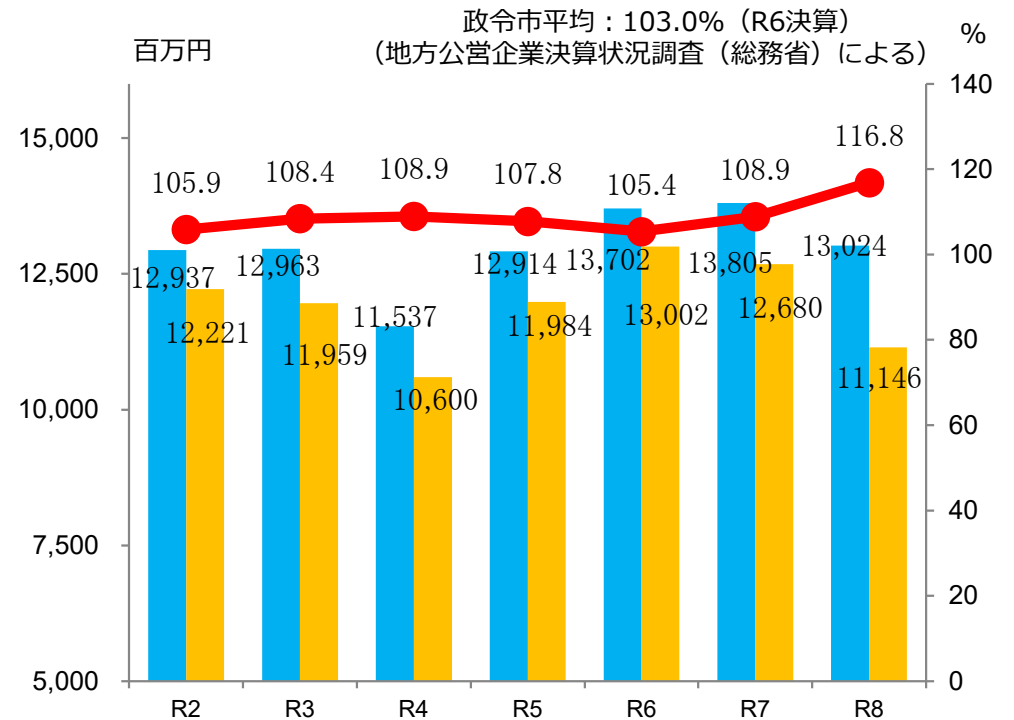
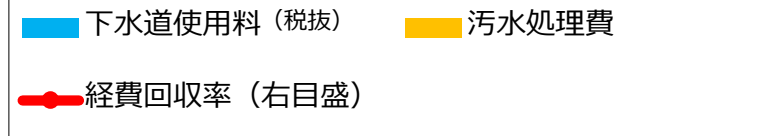
・汚水処理以外の経費
(雨水処理等)
・使用料以外の財源を
充当する汚水処理経費

- ・維持管理費(修繕費など)
- ・資本費(減価償却費、支払利息など)

汚水処理費
(使用料を充当すべき経費)

- ・維持管理費(修繕費など)
- ・資本費(減価償却費、支払利息など)

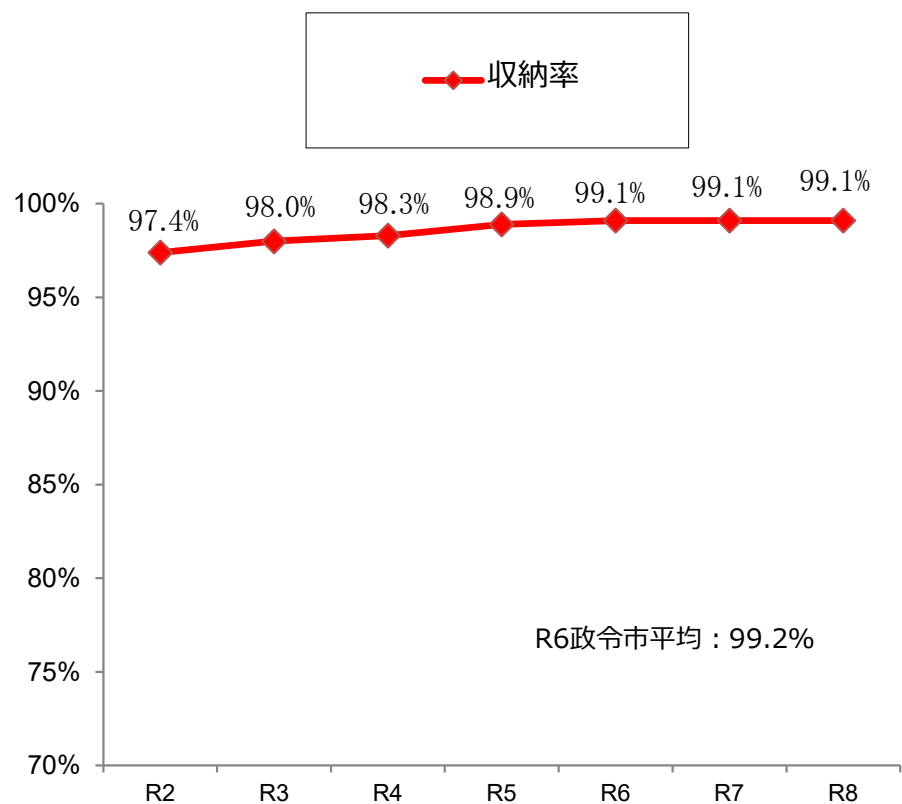
下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



経費回収率(%)=下水道使用料÷汚水処理費×100
(R6まで決算値 R7は決算見込 R8は予算値)

- R4…使用料特別減免実施
- R6…使用料改定実施(平均改定率5.4%)
- R8…使用料改定(平均改定率13.6%)及び使用料特別減免実施

下水道使用料収納率



(R6まで決算値 R7は見込値 R8は目標値)

※ 3月調定分を反映させるため、5月末時点の収納率を記載しています。



(参考) 予定損益計算書

| (単位：百万円・税抜) | R8年度 | R7年度 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 営業収益 | 21,541 | 21,425 | +116 | +0.5% |
| 2. 営業費用 | 26,722 | 26,167 | +555 | +2.1% |
| 営業利益 | ▲5,181 | ▲4,742 | ▲439 | +9.3% |
| 3. 営業外収益 | 10,466 | 8,054 | +2,412 | +29.9% |
| 4. 営業外費用 | 3,459 | 2,642 | +817 | +30.9% |
| 経常利益 | 1,826 | 670 | +1,156 | +172.5% |
| 5. 特別利益 | 73 | 464 | ▲391 | ▲84.3% |
| 6. 特別損失※1 | 20 | 9 | +11 | +122.2% |
| 当年度純利益 | 1,879 | 1,125 | +754 | +67.0% |
| 経常収支比率 | 106.1% | 102.3% | +3.8ポイント | 政令市平均※2 103.7% |

経常収支比率(%) = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

※1 特別損失は予備費を含む。

※2 地方公営企業決算状況調査(総務省)における全政令市20都市データ(R6決算)による。

(参考) 予定貸借対象表 (バランスシート)

| (単位: 百万円) | R8年度 | R7年度 | 増減額 | |
|-----------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 資産 | 445,241 | 447,899 | ▲2,658 | |
| 1. 固定資産 | 436,176 | 439,675 | ▲3,499 | |
| 2. 流動資産 | 9,065 | 8,224 | +841 | |
| 負債 | 376,870 | 382,449 | ▲5,579 | |
| 3. 固定負債 | 189,140 | 191,395 | ▲2,255 | |
| 4. 流動負債 | 21,060 | 21,191 | ▲131 | |
| 5. 繰延収益 | 166,670 | 169,863 | ▲3,193 | |
| 資本 | 68,371 | 65,450 | +2,921 | |
| 6. 資本金 | 44,733 | 43,047 | +1,686 | |
| 7. 剰余金 | 23,638 | 22,403 | +1,235 | |
| 自己資本構成比率 | 52.8% | 52.5% | +0.3ポイント | 政令市平均※ 59.2% |
| 流動比率 | 43.0% | 38.8% | +4.2ポイント | 74.6% |

自己資本構成比率(%) = (資本金 + 剰余金 + 繰延収益) ÷ 負債資本合計 × 100

流動比率(%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

※ 地方公営企業決算状況調査(総務省)における全政令市20都市データ(R6決算)による。

(参考) 令和8年度末予定資金収支(令和8年度使用料改定に係る推計(R7.8実施)との比較)

| (単位:百万円・税込) | R8当初予算時 | R8使用料改定に係る推計時 | 増減額 | 増減率 | 主な増減要因 |
|---------------|---------------|---------------|-------------|--------------|---------------------------------------|
| 1 収入 | 42,602 | 42,167 | +435 | +1.0% | |
| (1) 下水道使用料 | 14,326 | 17,240 | ▲2,914 | ▲16.9% | 使用料特別減免の実施による |
| (2) 一般会計繰入金 | 12,424 | 9,175 | +3,249 | +35.4% | 特別減免実施による使用料減収分等を国の重点支援交付金で補てんすることによる |
| (3) 企業債 | 12,543 | 12,050 | +493 | +4.1% | |
| (4) 国庫補助金 | 3,064 | 3,500 | ▲436 | ▲12.5% | |
| (5) その他 | 245 | 202 | +43 | +21.3% | |
| 2 支出 | 41,903 | 41,662 | +241 | +0.6% | |
| (1) 維持管理費 | 11,121 | 10,875 | +246 | +2.3% | |
| (2) 資本費 | 18,018 | 17,634 | +384 | +2.2% | |
| ①企業債償還金 | 14,917 | 14,907 | +10 | +0.1% | |
| ②支払利息 | 3,101 | 2,727 | +374 | +13.7% | 金利の上昇による |
| (3) 特別損失 | 11 | 10 | +1 | +10.0% | |
| (4) 建設改良費 | 11,980 | 12,413 | ▲433 | ▲3.5% | |
| (5) その他 | 773 | 730 | +43 | +5.9% | |
| 3 資金収支 | +699 | +505 | +194 | — | |

